

神前地区コミュニティ・プラント精密機能検査業務委託仕様書

第1章 総則

第1条 業務の目的

本委託業務は、神前地区コミュニティ・プラントについて、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第5条に基づき、処理施設の機能を保全するため、精密機能検査によって、運転管理実績、機能の状況設備・装置の状況、耐用の度合い等について調査を行い、これらの結果と維持管理基準及び設計基準と比較して処理負荷及び処理機能を検討するとともに今後の本施設の適正な施設運営及び施設整備における参考資料とすることを目的として実施する。

第2条 業務委託の場所（施設の概要）

施設名 神前地区コミュニティ・プラント
所在地 四日市市高角町地内
処理能力 1,430m³/日（日最大）
処理方式 長時間ばっき方式
稼動年度 平成13年度

第3条 業務期間

契約の日から平成27年3月25日まで

第4条 仕様書の適用

本業務は、本仕様書に従い、疑義が生じた場合は本局担当者と十分協議するものとする。
但し、本仕様書に明記のないものであっても、業務に当然必要な事項は本業務に含むものとする。

第5条 関係法令等の遵守

業務実施のあたり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「コミュニティ・プラント指針」をはじめ、関連する法令・規格等を遵守しなければならない。

第6条 機密の保持

本業務の遂行上、知り得た事項について、第三者に漏らしてはならない。
受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を厳守すること。

第7条 提出書類

1 着手時

- | | |
|-------------------------------|----|
| ・ 委託業務着手届 | 1部 |
| ・ 業務工程表 | 1部 |
| ・ 委託業務主任者等専任届及び業務主任者・管理技術者経歴書 | 1部 |
| ・ 業務計画書 | 1部 |

- ・ その他必要な書類 1 式
 - 2 完了時
 - ・ 業務完成届 1 部
 - ・ 精密機能検査等報告書（写真含む）を A4 サイズ製本したもの 2 部
 - ・ 上記報告書の電子データ（CD-R 等） 1 部
 - ・ その他必要な書類 1 式
- 書式については本局担当者の指示による。

第2章 業務の内容

第1条 業務の概要

本業務は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第5条に基づき、維持管理実績、設備・装置等の状況を調査・検査することで必要な改善点を指摘し、以て処理施設の機能を保全するためのものである。

第2条 業務内容

1. 施設の概要

施設の概要、処理工程及び補修工事、改良工事等の内容について調査する。

2. 運転管理実績

(1) 運転管理実績

年度別、月別に流入量、汚泥処理量、放流量、電力使用量、燃料使用量及び各種薬品使用量等の運転実績を調査する。

(2) 作業状況

処理工程ごとに日常の作業状況を聞き取り、調査を行う。また、定期作業の内容について調査する。

(3) 水質及び汚泥検査

別表の箇所及び項目を分析検査する。

(4) 処理条件と処理効果

各処理工程においてそれぞれの機能を設計基準と比較して検討する。また水処理工程の物質収支についても、同等に比較、検討を行うこと。ただしその作成にあたっては、今回行う水質検査等の結果を用いて可能となる範囲のみとしてもよい。

3. 設備等の状況

(1) 書類調査

基本図書（設計書、図書等）、運転記録（日報、月報等）等について調査する。

(2) 設備、機器等の検査

各設備、装置、機器類について検査し、その状況を良、要補修、要交換、改造のランクに区分して判定し、その箇所を示す。

a. 土木・建築設備

各設備について亀裂、破損箇所の有無、不等沈下、漏水・浸水の有無を検査する。

b. 機械設備

各設備について、腐食、損傷の有無、装置の振動、異常音、温度上昇、その他軸受等のオイル、グリスの補給状況及び損耗等を検査する。

c. 電気設備

各設備について、腐食、損傷の有無、絶縁の良否、装置の振動、異常音、温度上昇、その他配線、安全器等の状況を検査する。

d. 配管、弁設備

各設備について、腐食、損傷の有無、接続箇所の漏水・浸水の有無、その他弁類の作動の良否等を検査する。

e. その他

全体的な水位高低関係、悪臭の発生等を検査する。

脱臭装置の出入口において、硫化水素、アンモニアの臭気を測定し、脱臭状況を調査する。

f. 騒音測定

別図測定箇所（4箇所）において音圧（騒音）レベル（A特性）の測定を行う。

測定時間および回数 PM10:00～AM 6:00 1回

AM 8:00～PM 6:00 1回

計量の方法 昭和43年厚・農・通・運告示1号「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」に基づく

4. 施設整備内容の検討

(1) 改善点の指摘及び補修計画の提案

精密機能検査の結果に基づき、施設整備の構造・設計性能及び維持管理上の問題点、改善点を指摘する。改善及び整備が必要な施設整備について、その優先性を考慮し、また本施設の保全計画と整合を図って年次別の補修（改善）計画を提案する。

(2) 概算事業費の算出

上記で立案した補修（改善）計画に基づいて、年次別の概算事業費の算出を行う。

〔別紙〕

個人情報取扱注意事項

（基本事項）

第1 この契約による業務の委託を受けた者（以下「乙」という。）は、この契約による業務を行うに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

（受託者の義務）

第2 乙及びこの契約による業務に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該業務を行うに当たり、個人情報を取り扱うときは、四日市市個人情報保護条例（平成11年四日市市条例第25号。以下「条例」という。）第11条に規定する義務を負う。

2 乙は、この契約による業務において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。

（秘密の保持）

第3 乙及び乙の従事者は、この契約による業務を行うに当たって知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。

2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、この契約による業務を行うに当たって知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しないように必要な措置を講じなければならない。

3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（適正な管理）

第4 乙は、この契約による業務に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

（収集の制限）

第5 乙及び乙の従事者は、この契約による業務を行うために、個人情報を収集するときは、当該業務を行うために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

（再委託の禁止）

第6 乙は、あらかじめ四日市市（以下「甲」という。）の承諾があった場合を除き、この契約による業務を第三者に委託又は請負（以下「再委託」という。）をしてはならない。

2 乙は、前項の承諾により再委託する場合は、再委託先における個人情報の適正な取扱いのために必要な措置を講じなければならない。

3 前項の場合において、乙は、再委託先と本注意事項に準じた個人情報の取扱いに関する契約を交わすものとする。

（複写、複製の禁止）

第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による業務を行うに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。

（持ち出しの禁止）

第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。

2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。

3 前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管及び管理し、漏えい、

滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。

(資料等の返還)

第9 乙は、資料等を当該業務の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。

2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。

(1) 紙媒体 シュレッダーによる裁断

(2) 電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
(研修・教育の実施)

第10 乙は、乙の従業者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による業務における個人情報の適正な取扱いに資するための研修・教育を行うものとする。

(罰則等の周知)

第11 乙は、条例第44条、第45条、第47条及び第48条に規定する罰則適用について、乙の従事者に周知するものとする。

(苦情の処理)

第12 乙は、この契約による業務を行うに当たって、個人情報の取扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。

(事故発生時における報告)

第13 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(契約解除及び損害賠償)

第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

〔別紙〕

四日市市上下水道局庁舎等への業務委託業者入出注意事項

（基本事項）

第1 この契約による業務の委託を受けた者（以下「乙」という。）は、この契約による業務を行なうに当たり、四日市市上下水道局庁舎等（以下「庁舎等」という。）の秩序及び安全の維持に努めなければならない。

（立入届出の義務）

第2 乙は、当該業務を行なうに当たり、乙又はこの契約による業務に従事する者（以下「乙の従事者」という。）が庁舎等内に立入る必要がある場合は、あらかじめ四日市市（以下「甲」という。）に四日市市上下水道局業務委託業者届を提出しなければならない。

2 乙は、乙が受託した業務の一部を第三者に行わせる場合は、四日市市上下水道局業務委託・工事業者届にその旨届けなければならない。

（身分明示と入退庁の記録）

第3 乙又は乙の従事者は、当該業務を行なうに当たって甲の業務時間外及び閉庁時に庁舎等に立入る際は、警備員にその身分を証するものを提示し、備付の記録簿に業者名、氏名、入庁時間、その他必要な事項を記入しなければならない。

2 前項の身分を証するものは、社員証又は社員名札等とする。ただし、個人事業者については運転免許証等の公的証明とする。

3 乙又は乙の従事者は、第1項により庁舎等に立入ったのち退庁するときは、記録簿に退庁時間を記入しなければならない。

（禁止行為）

第4 乙又は乙の従事者は、庁舎等内では以下の行為をしてはならない。ただし、当該業務の遂行に必要であると認められる場合は、この限りでない。

（1）庁舎等及び市有物件を損傷すること。

（2）みだりに戸、扉、窓等を開閉し、備付けの物件を利用し、若しくは移動させ、又は施設を構えること。

（3）通行の妨害となるような行為をすること。

（4）指定された場所以外で喫煙又は火気を取り扱うこと。

（5）立入を禁止された場所に立入ること。

（6）その他庁舎等の管理又は取締上不適当と認められる行為をすること。

（入退庁の特例）

第5 乙が当該業務を行なうに当たり、頻繁に庁舎等への入出を行う必要がある場合は、その旨を甲に事前に届出ることができる。この場合において甲が適当と認めたときは、第3に記載する事項を行わなくてもよい。

（契約解除及び損害賠償）

第6 甲は、乙又は乙の従事者がこの業務委託業者入出注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償を請求することができる。

別表

水質分析項目

分析項目	流入	1系曝気槽 第1室 入口	1系曝気 第1室 出口	2系曝気 第2室 出口	1系沈殿 出口	2系沈殿 出口	放流 消毒槽 出口	濃縮汚泥 入口	濃縮汚泥 出口 汚泥	濃縮汚泥 出口 脱離液	脱水 ケーキ	計
pH	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	10
BOD	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
COD	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
浮遊物質(SS)	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
塩素イオン	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
アンモニア性窒素	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
亜硝酸性窒素	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
硝酸性窒素	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
全窒素	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
全りん	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	8
溶存酸素	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
色度	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
水温	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	10
蒸発残留物	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	4
大腸菌群数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2

汚泥分析項目

強熱減量	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
含水率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1

注:分析方法については、公的分析法によること。